

凸版印刷とサントリーフーズ、電子ペーパーサイネージ 「まちコミ」搭載の自動販売機による情報配信の実証実験を開始 ～省電力サイネージ搭載の自動販売機でニュースや行政情報を配信、 地域コミュニティの活性化を支援～

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)とサントリーフーズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:栗原 信裕、以下 サントリーフーズ)は共同で、省電力の電子ペーパーサイネージ「まちコミ(※)」を搭載する自動販売機(以下:『「まちコミ」自動販売機』)を開発。この『「まちコミ」自動販売機』を、仙台市の協力のもと仙台市内の仮設住宅 7 ヶ所で、地域情報インフラとして活用する可能性を探る実証実験を 2011 年 9 月 26 日から開始しています。

※電子ペーパーサイネージ「まちコミ」とは

凸版印刷が提供する、低消費電力の電子ペーパーを活用した新しい情報配信サービスです。2008 年 12 月に商用化、現在では仙台市地下鉄のホームの対向壁に設置した大型の電子ペーパーサイネージに、地域に密着したニュースや天気予報などの情報とともに広告情報を配信し、運営しています。

東日本大震災後には、仙台市ホームページの復興関連支援情報を許可を得て転載し、情報発信に協力しました。

今後の地域コミュニティに求められる社会インフラ整備として、災害などの際に利用可能な、省電力で、地域密着型の情報配信を可能にする仕組みが求められています。凸版印刷は、仙台市地下鉄南北線で「まちコミ」を展開し、ニュースや天気予報と共に広告情報など様々な情報を配信しています。

本実証実験は、サントリーフーズの自動販売機に、凸版印刷の「まちコミ」を搭載して開発した、『「まちコミ」自動販売機』を仙台市の仮設住宅 7 ヶ所に設置。ニュースや行政情報など、地域コミュニティに関する情報を配信します。生活者の身近にある自動販売機を活用して情報配信を行うことで、デジタルデバイスなどの有無に関係なく、幅広い世代の地域住民が、生活に有用な情報に接触できます。本実証実験では、これにより地域コミュニティの活性化を支援し、また地域住民に情報を届ける、地域に欠かせない地域情報インフラとしての効果を検証します。



仮設住宅に設置された『「まちコミ」自動販売機』



ニュースや行政情報など、地域コミュニティに関する情報を配信

【実証実験の概要】

<目的> 『「まちコミ」自動販売機』を、地域情報インフラとして活用することの効果検証

<期間> 2011年9月26日(月)~2012年3月末(予定)

<実施地域> 下記7ヶ所に「まちコミ」自動販売機を設置

- ・仙台港背後地6号公園(宮城野区中野宇田中110番地)
- ・荒井土地区画整理事業小学校用地(若林区伊在東通34番地)
- ・岡田西町公園(宮城野区岡田西町2番1号)
- ・扇町一丁目公園(宮城野区扇町一丁目4番1号)
- ・福田町南一丁目公園(宮城野区福田町南一丁目7番1号)
- ・若林日辺グラウンド(若林区日辺宇沖田東15番地)
- ・あすと長町38街区(太白区あすと長町三丁目1番1号)

<配信される情報> 仙台市からのお知らせ、仙台市消費生活センターからのお知らせ、コミュニティ情報、
みんなの安全☆安心:宮城県警、ニュース など

<設置される『「まちコミ」自動販売機』の特長>

1) 省電力の電子ペーパーサイネージを搭載

「まちコミ」に利用されている電子ペーパーは、低消費電力の表示技術で、太陽光下でも見やすい視認性の良い媒体として電子書籍リーダーや携帯電話で商用化されています。凸版印刷は、「まちコミ」を2008年12月に商用化し、現在では仙台市地下鉄のホームの対向壁に設置した大型の電子ペーパーサイネージに地域に密着したニュースや天気予報などの情報とともに広告情報を配信し運営しています。

・表示部サイズ: 縦122.88mm×横163.84mm(対角約8.1インチ)

・消費電力: 平均約5ワット

2) 状況にあわせた負荷の少ないコンテンツ配信が可能

表示する画像や時間帯の指定など、コンテンツ配信の操作は全てWebブラウザでオフィスなどから容易に行なえます。時間帯、曜日、場所にあわせたコンテンツを、少ない負荷で配信することが可能です。また、RSSによるテキスト情報の自動更新も可能です。

3) 災害時対応(ファイナルメッセージの保持)が可能

「まちコミ」に利用されている電子ペーパーは、電源を切っても最後に表示した画像を保持できます。

この紙のような特性から、災害に伴う停電時でも直前の情報を発信し続けることができ、被災地での情報発信を行う防災用途の表示装置として有望視されています。

【2社の役割】

- ・凸版印刷 : 「まちコミ」の提供、『「まちコミ」自動販売機』の開発、コンテンツ管理・配信
- ・サントリーフーズ : 自動販売機の提供、『「まちコミ」自動販売機』の開発

【今後の展開】

本実証実験をもとに、凸版印刷とサントリーフーズは、自治体や住宅関連などの地域コミュニティが必要とされる団体や企業へ、『「まちコミ」自動販売機』の展開を検討します。

*記載されている会社名・製品名は各社の登録商標または商標です。

【お問い合わせ先】

- ・凸版印刷株式会社 広報本部 : TEL:03-3835-5636
- ・サントリーフーズ株式会社 広報室 : TEL:03-5579-1201

以上